

### (3) 森林・林業への理解促進

本県は、県土の約72%を森林が占めており、この広大な面積を健全な状態で次代に引き継ぐためには、森林の果たす機能・恩恵の理解を深め、各々の地域の多様な主体が中心となって保全活動を行っていく必要がある。

このことを鑑み、森づくり事業では、県民全体で守り育てる森づくりを進めるために、「地域の主体的な取組」という枠組みの下で事業を実施し、また、各種の啓発・広報事業を行っている。

広島県は、平成22年度に、森づくり税・事業に関するひろしまの森づくり県民アンケート調査(以下、「県民アンケート調査」という。)を実施しており、その結果をもとに、「県民理解の促進」を「森づくり税の認知度」として捉えて、これまでの効果を計ることとする。

(※P.57 資料7 平成22年度ひろしまの森づくり県民アンケート調査報告書)

県民アンケート調査によると「森づくり税を知っている」と答えた割合は、「個人」25.4%、「企業」36.1%であった。なお、自主的な活動主体となり得る「自治組織等住民団体」での認知度は76.2%、「学校」では51.1%であった。(P.18)

このことから推測すると、地域主体の取組を促進する枠組みによって、住民団体等の関係者に対しては、この事業を通じて森林整備に関する意識・関心が高まっており、森林への理解・自主的活動の促進に着実な前進が見られるものの、広く一般県民にまでは広まっていないことがうかがえる。

また、県民アンケート調査(個人)によると、森林に対して「非常に親しみを感じる」又は「ある程度親しみを感じる」と答えた割合は地域に関係なく高く、また、森林の果たす機能や、森づくり事業の必要性についても多くのひとが理解・賛同している。(P.19)

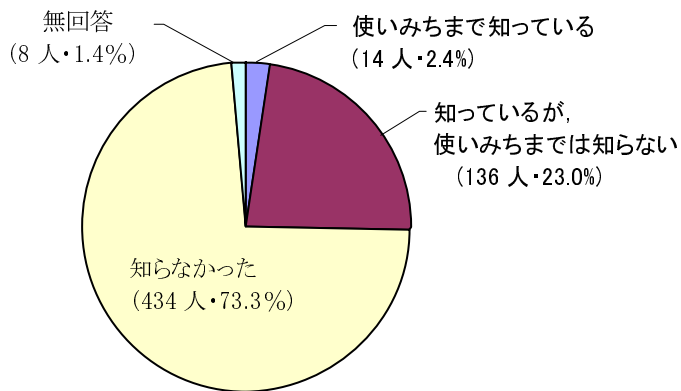
県民アンケート調査によると、森林の果たす役割や整備の必要性については理解が得られるものの、その『担い手』(県民全体)や『取組』(森づくり事業)については、十分周知されていないという事実を示すものであり、本県の森林を健全な状態で次代に引き継いでいくためには、一般県民にまでその理解が広がっていくような一層の啓発活動が必要である。

なお、地域別の傾向で見ると、認知度が比較的低い沿岸部では、森林機能の重要な役割として、「CO<sub>2</sub>吸収」が特に高い割合を示している。

このことから、県民全体で守り育てる取組につなげるアプローチのひとつとして、意識・関心の高い地球温暖化対策の視点から広くアピールをすることも、県民理解の促進に寄与するものと推測される。

## 県民アンケート調査結果（森づくり税・事業の認知度）

### 1 個人



#### 【調査対象】

県内に在住する20歳以上の個人

【調査数】1,000人

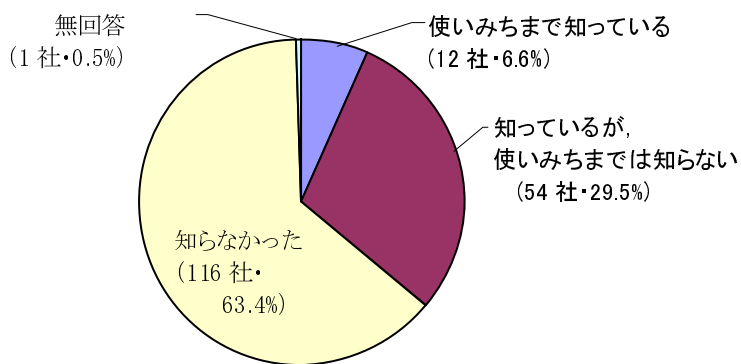
【回答数】592人(59.2%)

【認知度】25.4%

※1 認知度は、回答者数のうち「使いみちまで知っている」又は「知っているが、使いみちまでは知らない」と回答のあった割合（以下、同じ）

※2 端数処理の関係で計算値と認知度が一致しない場合がある（以下、同じ）

### 2 企業



#### 【調査対象】

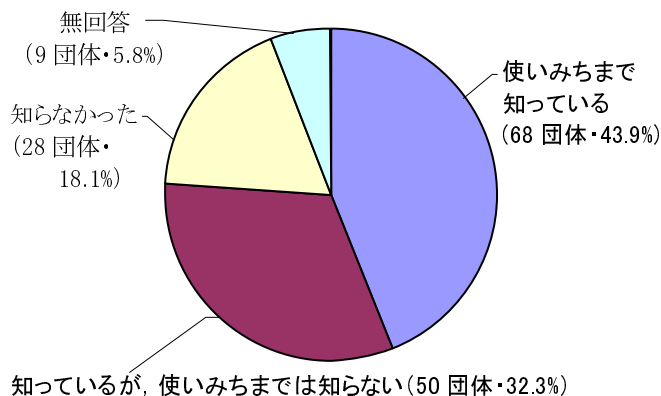
県内に所在する企業

【調査数】300社

【回答数】183社(61.0%)

【認知度】36.1%

### 3 自治組織等住民団体



#### 【調査対象】

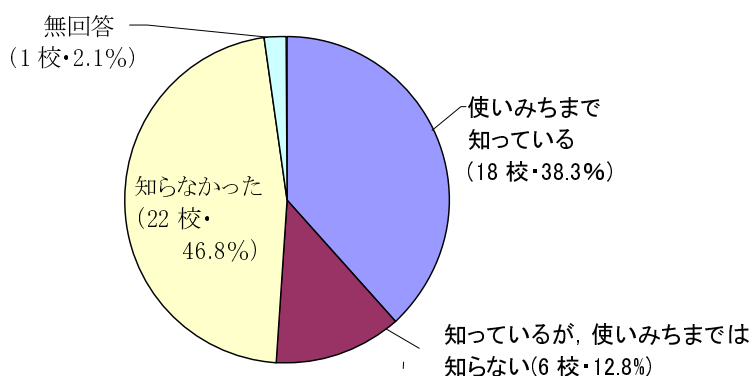
県内に所在する町内会・自治会・自治振興区等

【調査数】186団体

【回答数】155団体(83.3%)

【認知度】76.2%

### 4 学校



#### 【調査対象】

県内に所在する学校

【調査数】50団体

【回答数】47団体(94.0%)

【認知度】51.1%

## 県民アンケート調査結果(個人・地域別)

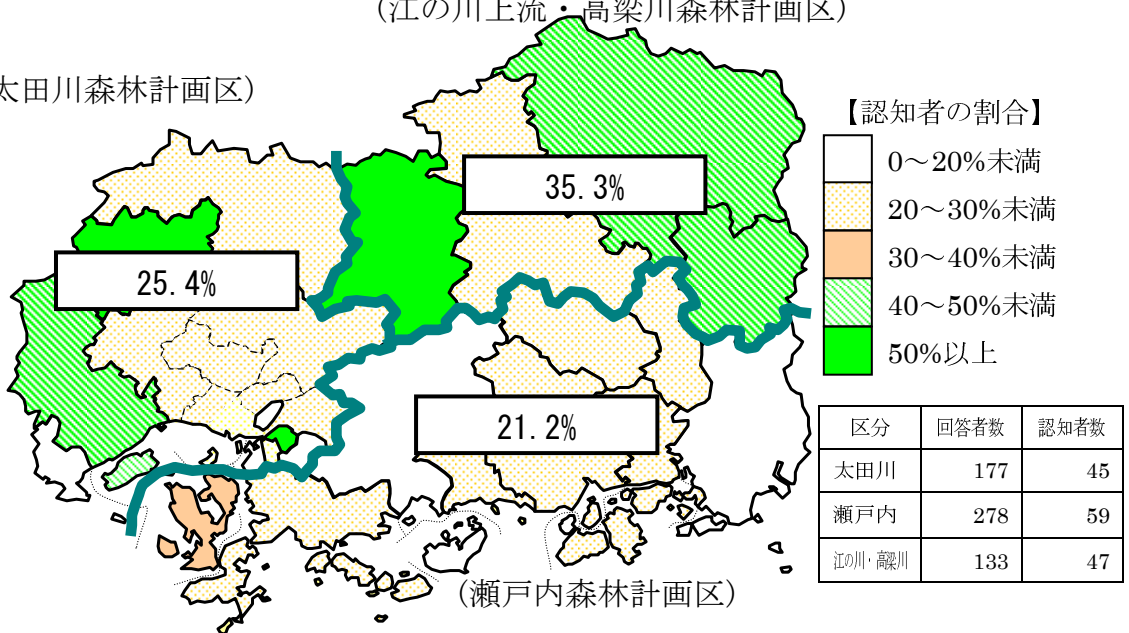
- 1 回答内容の地域別の傾向を把握するため、回答地域を森林計画区(=流域によって区分した森林施策の行政区域)を基準に大まかに区分して、その傾向を地域の傾向として捉える。
- 2 個人回答者(592人)のうち、所在地未回答(4人)の回答については含めず、地域が確定している588人の回答により集計する。

### 1 ひろしまの森づくり県民税の認知度

問：あなたは「森づくり税」を知っていますか？

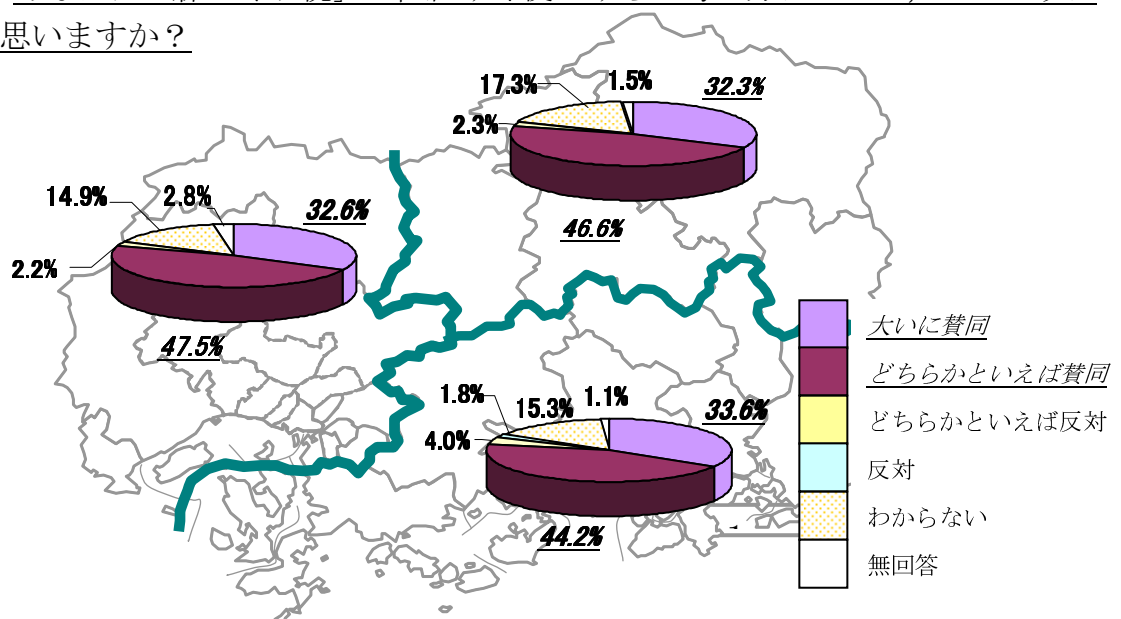
(江の川上流・高梁川森林計画区)

(太田川森林計画区)



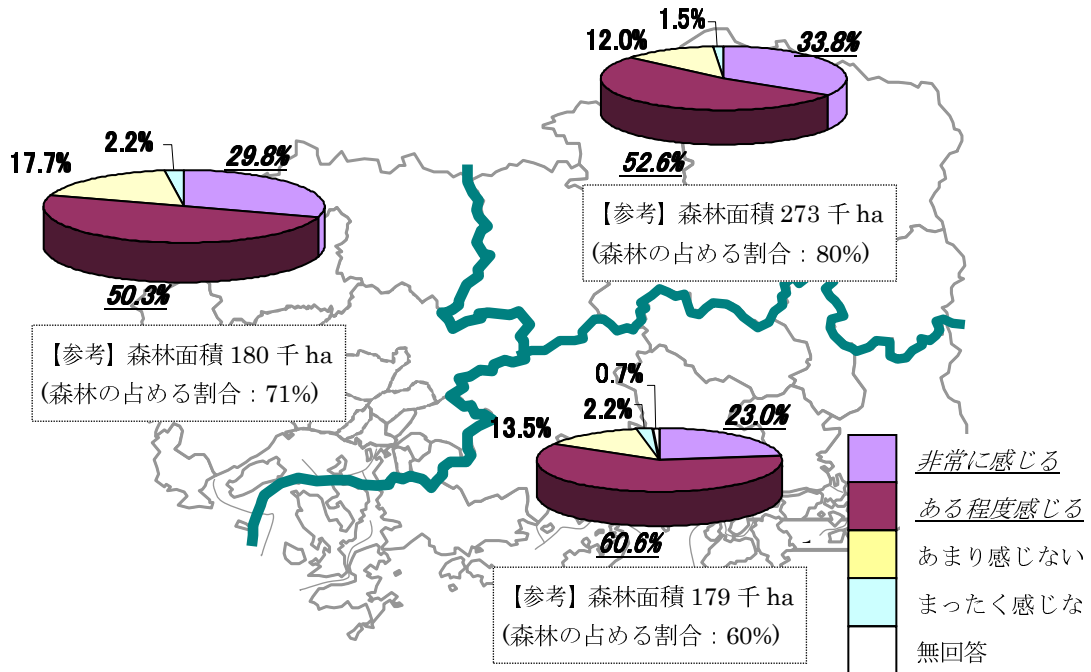
### 2 ひろしまの森づくり県民税に対する賛否

問：あなたは「森づくり税」の仕組みや使いみちの考え方について、どのように思いますか？



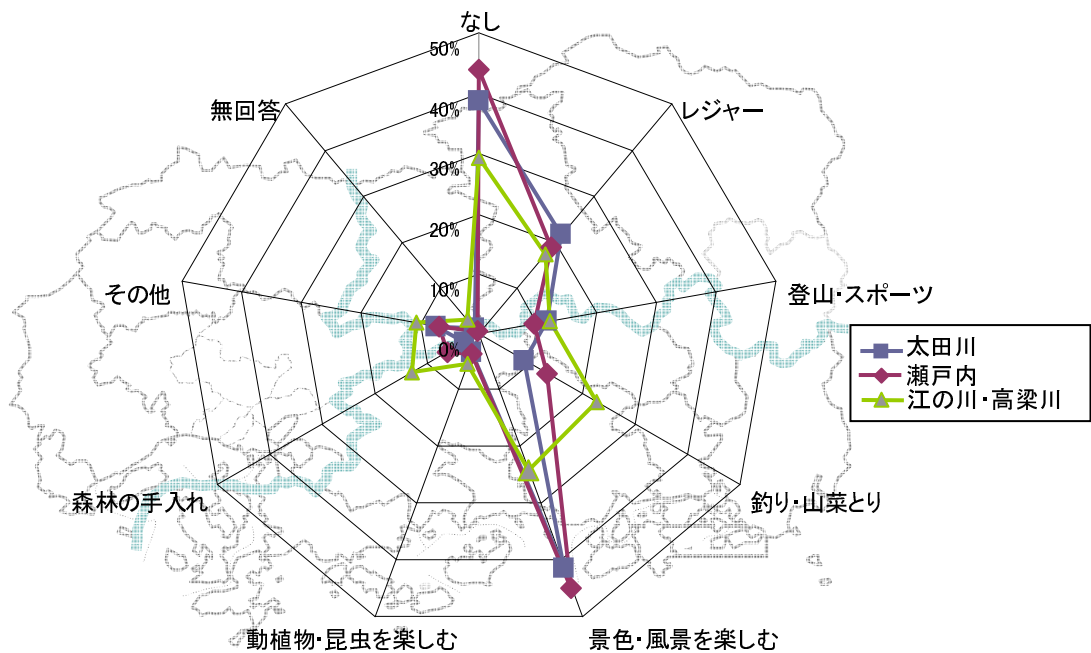
### 3 森林への親しみ

問：あなたは森林にどの程度親しみを感じますか？



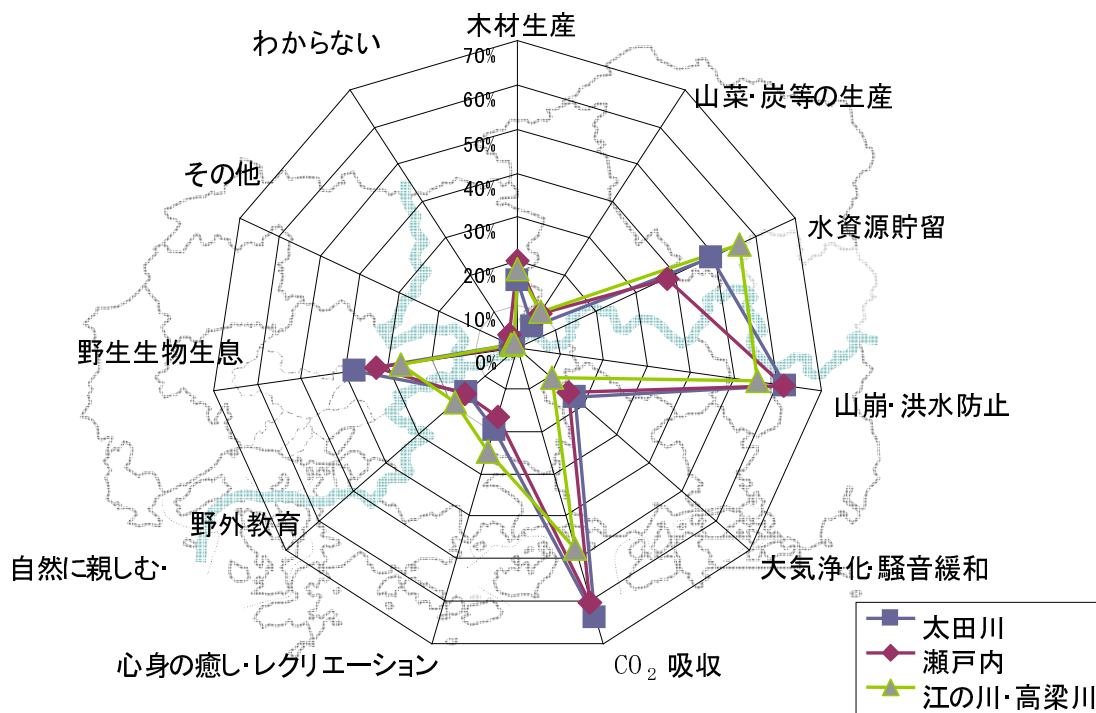
### 4 最近1年間の森林との関わり

問：あなたは、最近1年間くらいに、山や森に行ったことがありますか？(回答はいくつでも可)



## 5 重要と思う森林の働き(機能)

問：森林には、環境を守るなど様々な働き(機能)があります。このうち、あなたはどのような働きが重要だと思いますか？(回答は3つまで)



### 【森林に対する意識の傾向】

- 山間部では、森林が日常生活との関わりや生活環境の形成に大きく影響していることから、森林に対する意識・関心も比較的高く、森づくり県民税の認知度にも影響しているものと推測される。
- 森林に対する印象は、地域(日常生活等の関わり)に関係なく「親しみを感じる」割合が多くを占めている反面、沿岸部では、日常で森林を身近に感じる環境が少ないことから関わる機会がない人が多い。このため、沿岸部の県民は日常生活を離れて森林と親しむために、休暇等を利用して無理のない範囲で「景観・風景を楽しむ」ことで森林と関わりをもっているものと推測される。
- 森林の果たす重要な役割として「CO<sub>2</sub>吸収」が高い割合を示しており、特に、認知度の低い沿岸部では60%を超えている。森林を身近に感じる環境になくとも、日常の生活環境形成の観点から身近な問題としてCO<sub>2</sub>吸収に対する意識・関心が高く、特に重要な機能であると認識されていると推測される。